

# 2<sup>nd</sup> World Games of Deaf Athletics Teams 2024

(第2回世界デフ国別・地域別対抗陸上競技選手権大会)

## 第21回日本デフ陸上競技選手権大会

### 第4回日本デフジュニア・ユース陸上競技選手権大会

#### \*デフ国・地域別対抗陸上競技大会

デフ（聴覚障がい）アスリートの国・地域別対抗戦として実施し、各種目の順位に応じて得点が与えられ、総合得点で順位を決定する対抗陸上競技大会です。

- 1 主 催 一般社団法人日本デフ陸上競技協会
- 2 共 催 世界デフ陸上競技連盟（WDA） 東京都
- 3 主 管 公益財団法人東京陸上競技協会
- 4 後 援 スポーツ庁 公益財団法人日本陸上競技連盟  
公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会  
公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟
- 5 協 賛 株式会社アシックス 公益財団法人山田昇記念財団 株式会社ニシ・スポーツ  
東京パワーテクノロジー株式会社 株式会社つなひろワールド  
株式会社フジインコーポレーテッド 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社  
大塚製薬株式会社
- 6 会 場 

<b>大会 1 日目（ハンマー投）</b>	大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
	〒140-0003 東京都品川区八潮4丁目1-1 9 TEL03-3790-2378
<b>大会 2・3 日目</b>	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1-1 TEL03-3421-6199
<b>2・3 日目練習会場</b>	駒沢オリンピック公園総合運動場補助競技場
	〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1-1 TEL03-3421-6199
- 7 デフ競技規則 競技については WA ルールに準ずる。  
ICSD（国際デフスポーツ委員会）「オーソグラムの規則 2条」に基づき、大会出場選手は、禁止エリア内でのウォームアップおよび試合中には、いかなる補聴機器、増幅器および人工内耳体外装置の装着も一切認められない。禁止エリアは招集所内から競技場内とする。

- 8 年齢区分 【ジュニア】＝中学生（日本基準）  
2009年4月2日～2012年4月1日の間に生まれた選手  
【ユース】＝高校生（日本基準）  
2006年4月2日～2009年4月1日の間に生まれた選手  
※ 海外選手：ジュニア、ユース区分に出場する場合は、上記、日本基準に準ずる。

- 9 期 日 2024年11月29日（金）・30日（土）・12月1日（日）  
【会期詳細】1日目 11月27日（水）入国日  
2日目 11月28日（木）公式練習日（大井競技場）  
3日目 11月29日（金）大会1日目・公式練習日（大井競技場）ハンマー投、開会式  
4日目 11月30日（土）大会2日目（駒沢競技場）  
5日目 12月 1日（日）大会3日目（駒沢競技場）、閉会式  
6日目 12月 2日（月）帰国日

10 国別・地域別対抗選チーム分け

参加11か国と地域 イタリア・ウクライナ・チェコ・スウェーデン・トルコ・アメリカ・  
ドミニカ・フィリピン・韓国・チャイニーズタイペイ・日本

- ① EDSO (European Deaf Sports Organization)
- ② WDA (World Deaf Athletics チーム)
- ③ Team Japan (日本チーム)

11 競技種目

【DAT（国別・地域別対抗選）】

男子 100m 200m 800m やり投 ハンマー投  
女子 100m 走幅跳  
男女混合 リレー

【日本デフ陸上競技選手権大会】※海外選手も参加対象

※ハードル種目、三段跳、棒高跳は高校生参加可だが、一般と同じルールとする。

※ハンマー投競技については11月29日（金）大井陸上競技場で開催する。

男子(19種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 110mH 400mH 3000mSC  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(一般 7.260kg) ハンマー投(一般 7.260kg)  
円盤投(一般 2.0kg) やり投(一般 0.800kg) 十種競技

女子(19種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH 3000mSC  
走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(一般 4.0kg) ハンマー投(一般 4.0kg)  
円盤投(1.0kg) やり投 七種競技

【日本デフジュニア・ユース陸上競技選手権大会】※海外選手も参加対象

※中学の投擲種目はオープンとする。 ●ジュニア＝中学 ユース＝高校

男子(12種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 走高跳 走幅跳 砲丸投 (高校 6.0kg 中学 5.0kg)  
円盤投(高校 1.75kg) ハンマー投(6.0kg) やり投

女子(12種目)

100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 走高跳 走幅跳 砲丸投 (高校 4.0kg 中学 2.721kg)  
円盤投(1.0kg) ハンマー投(4.0kg) やり投

【競技日程】

11月29日(金) ハンマー投 (大井競技場)  
11月30日(土) 100m 400m 1500m 10000m 110mH 100mH  
走高跳 三段跳 砲丸投 やり投 七種 十種  
12月1日(日) 200m 800m 5000m 400mH 3000mSC  
棒高跳 走幅跳 円盤投 七種 十種 4×400mMIX リレー

1.2 対抗得点 1位3点 2位2点 3位1点 ※欠場の場合0点とする

1.3 表彰対象 【国別・地域別対抗選】

総合1位～3位チームおよび、種目別1位～3位に対してメダルを授与する。

【日本デフ(ジュニア・ユース)陸上競技選手権大会】

男女各種目1位～3位にはメダルを授与する。

※ただし、1、2名出場の場合は1位のみメダルを、3名出場の場合は1位と2位にメダルを授与する。4名以上出場の場合は1～3位までメダルを授与する

※海外選手も表彰の対象とする。

1.4 参加資格 【国別・地域別対抗選】

各国のデフNFより出場の許可を得た選手

【日本デフ(ジュニア・ユース)陸上競技選手権大会】

一般社団法人日本デフ競技協会登録者とする。

※中高生競技者で本協会未登録者については、自動的に本協会登録者とする。(登録料無料)

1.5 参加制限

1人の出場種目については制限しないが、参加申込後、欠場する場合は、欠場届を競技会前日(11月28日23:59)までに日本デフ陸上競技協会競技運営委員会宛 ([games@j-daa.or.jp](mailto:games@j-daa.or.jp)) にメールで提出するか、競技会当日、競技開始時時刻60分前までに TIC (テクニカルインフォメーションセンター) へ提出しなければならない。

- 1.6 参加料
- 【国内選手】 一般 : 1種目 6,000円 (傷害保険料・撮影費を含む)
  - 大学・専門などの学生 : 1種目 3,500円 (傷害保険料・撮影費を含む)
  - 高校生以下 : 1種目 1,500円 (傷害保険料・撮影費を含む)
  - 【海外選手】 種目数に関わらず1名 US\$ 250.00
  - 【海外コーチ・スタッフ】 1名 US\$ 250.00

#### 1.7 申込方法について

- (1) **10月15日(火)23:59**までに大会参加申込書(エントリーシート)をEメールに添付して送ること  
送付先: 一般社団法人日本デフ陸上競技協会 競技運営委員会宛

E-mail: [games@j-daa.or.jp](mailto:games@j-daa.or.jp)

- (2) 参加料の振込先は下記の通り ※海外選手は別途案内にて通知する。

- ① 銀行振込 参加料は申込者(代表者)の名義で下記口座に振り込むこと。  
銀行名 : みずほ銀行 店名 : 横浜駅前支店  
預金項目: 普通 店番号 : 292 口座番号 : 2914438  
口座名 : シェンホテフクジョウキョウギキョウカイキョウブ

- ② クレジット決済 選手名、又は代表者名で決済をおこなうこと。

<https://2024dat.square.site/>

※システム手数料がかかります。

#### 1.8 競技用具について

棒高跳ポールを除き、用器具は主催者が用意する物を使用するものとする。但し、持参した用具(やりのみ可とする)の使用を希望する者は、公式計測員の検査を受けて合格したものに限り、個人所有のものが使用できるが、当該用具は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

- (1) 砲丸は 一般男子 7.260kg、高校(ユース)男子 6.000kg、中学(ジュニア)男子 5.000kg、  
一般・高校(ユース)女子 4.000kg、中学(ジュニア)女子 2.721kg を使用する。
- (2) 円盤は 一般男子 2.000kg、高校(ユース)男子 1.750kg、  
一般・高校(ユース)女子 1.000kg を使用する。
- (3) やりは男子 800g、女子 600g を使用する。
- (4) ハンマー投 一般男子 7.260kg、高校(ユース)男子 6.000kg  
一般・高校(ユース)女子 4.000kg を使用する。

#### 1.9 ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

## ●TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟 医事委員会のホームページ (<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

## ●未成年競技者親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得

2015年1月1日より、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程が改定され、未成年(18歳未満)競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得する事が必要となる。①本大会に参加する未成年者は、HP (<http://www.j-daa.or.jp/jdaa/taikai>)にある同意書をダウンロードして熟読し、署名、捺印の上、その原本を大会に持参し、携帯すること。②未成年競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(大会医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本デフ陸上競技協会競技運営委員会に原本を提出すること。

## 20 聴覚障がい者への配慮事項

- (1)各競技所に日本語手話通訳、国際手話通訳を配置し審判等と円滑にコミュニケーションが取れるようにする。
- (2)スタート合図には、NISHI製光刺激スタートシステムを設置する。
- (3)不正スタート時は、フライング伝達装置にて選手に信号を送る。
- (4)情報保障として、大型スクリーンでの手話通訳(日本語)、競技場中央に字幕(英語、日本語)、記録速報、またスマートフォンを活用した文字情報(各国言語に対応)を提供する。

## 21 託児所の設置について

当大会日程期間中、託児所を設置する。

別紙、申込書(注意事項)をエントリー時に提出し、当日受付時に託児依頼書を提出すること。

※ 事前申し込み必須。当日は受け付けない。

※ 申し込み定数を超えた場合はお断りする場合があります。

## 22 宿泊、開会式・開会レセプション、閉会レセプションについて

別紙、エントリーフォームに必要事項を記入し申し込みをお願いします。

※ 宿泊費の振込先は参加料と同じ口座へ、参加費と宿泊費は分けて振込むこと。

### 【宿泊】

令和6年11月27日(水)～12月2日(月) ※ホテルルートイン蒲田 ホテルルートイン阿佐ヶ谷

### 【開会式】

令和6年11月29日(金) 16:00～17:00 (会場:大崎ブライトコアホール)

### 【開会レセプション】

開会式後 17:30～19:00 (会場:開会式会場)

### 【閉会レセプション】

令和6年12月1日(日) 19:00～21:00 (会場未定)

## 2 3 その他

- (1) スパイクのピンの長さ、厚底シューズの規定については、2020年12月より適用される WA 規則に従ったものを使用すること。 ※詳細は当協会 HP 参照。 <http://www.j-daa.or.jp/jdaa/reinforcement>
- (2) アスリートビブスは、主催者が用意する。
- (3) ユニフォームは、DAT 競技に参加する選手はナショナルユニフォームを着用。DAT 競技以外は日本陸連広告規定に基づくユニフォームを着用する事。 <https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995/>
- (4) 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者側にて行うが以降の責任は負わない。
- (5) 一般社団法人日本デフ陸上競技協会ジュニア・ユース発掘事業を兼ねて実施する。
- (6) 大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
- (7) 駒沢競技場コンコースを活用し、各デフ競技団体のデフリンピック紹介ブースや、ろう大学生などの学生団体とも連携を取り、聴覚障がい理解啓発、手話・国際手話ミニ講座ブースなどを設置する。

## 2 4 お問い合わせ先

一般社団法人日本デフ陸上競技協会 競技運営委員会

E-mail : [games@j-daa.or.jp](mailto:games@j-daa.or.jp)

電 話 : 045-620-9465

大会特設ページ [http://www.j-daa.or.jp/jdaa/taikai\\_info/2024japandeaaf](http://www.j-daa.or.jp/jdaa/taikai_info/2024japandeaaf)

